



道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 646

令和5年9月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20円(会員の購読料は会費を含む)

8月10日は「道の日」

令和6年度道路関係予算概算要求概要

事業費 5兆8,130億円 (対前年度比1.10)

国費 2兆5,313億円 (対前年度比1.19)

道路関係予算概算要求総括表

(単位: 百万円)

区分	令和6年度(A)		前年度(B)		倍率(A)/(B)		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
直轄事業	1,907,764	1,907,764	1,595,298	1,595,298	1.20	1.20	1. 直轄事業の国費には、地方公共団体の直轄事業負担金(3,549億円)を含む。 2. 有料道路事業等の事業費には、各高速道路株式会社建設利息を含む。 3. 有料道路事業等の計数には、高速道路自動車駐車場整備事業費補助、高速道路連結部整備事業費補助、特定連絡道路工事資金貸付金、連続立体交差事業資金貸付金、電線敷設工事資金貸付金、自動運行補助施設設置工事資金貸付金を含む。 4. 本表のほか、防災・安全交付金(国費9,943億円[対前年度比1.20])、社会資本整備総合交付金(国費6,563億円[対前年度比1.20])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。 5. 本表のほか、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として社会資本整備総合交付金(国費162億円[対前年度比1.40])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。 6. なお、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和2年12月11日閣議決定)」、「現下の資材価格の高騰等を踏まえた公共事業等の実施に必要な経費」、「高速道路の料金引上げに必要な経費」については、事項要求を行い、予算編成過程において検討する。 7. 本表のほか、行政部費(国費9億円)及びデジタル庁一括計上分(国費13億円)がある。 (参考) 前年度(令和4年度)における社会資本整備総合交付金(道路関係)の交付決定状況(令和5年3月末時点)について [当初予算] ・防災・安全交付金 国費2,818億円 ・社会資本整備総合交付金 国費1,559億円 [補正予算] ・防災・安全交付金 国費710億円 ・社会資本整備総合交付金 国費239億円
改築その他	1,255,015	1,255,015	1,052,015	1,052,015	1.19	1.19	
維持修繕	537,914	537,914	437,328	437,328	1.23	1.23	
諸費等	114,835	114,835	105,955	105,955	1.08	1.08	
補助事業	1,055,353	611,465	884,887	511,319	1.19	1.20	
高規格道路、IC等アクセス道路その他	555,718	306,751	475,572	264,066	1.17	1.16	
道路メンテナンス事業補助	480,012	276,195	390,628	224,540	1.23	1.23	
除雪	19,623	13,082	18,687	12,458	1.05	1.05	
補助率差額	—	15,437	—	10,255	—	1.51	
有料道路事業等	2,849,884	12,037	2,795,022	11,645	1.02	1.03	
合計	5,813,001	2,531,266	5,275,207	2,118,262	1.10	1.19	

国土交通省は、8月24日に令和6年度予算概算要求概要を公表した。道路関係の予算概算要求概要は、事業費5兆8,130億円(対前年度比1.10)、国費2兆5,313億円(対前年度比1.19)となっている。

事業別では、直轄事業の事業費及び国費が1兆9,078億円(対前年度比1.20)、補助事業の事業費が1兆554億円(対前年度比1.19)、国費が6,115億円(対前年度比1.20)、有料道路事業等の事業費が2兆8,499億円(対前年度比1.02)、国費が120億円(対前年度比1.03)となっている。

この他に、防災・安全交付金(国費9,943億円)、社会資本整備総合交付金(国費6,563億円)があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

防災・安全交付金 国費 9,943億円 (対前年度比1.20)
社会資本整備総合交付金 国費 6,563億円 (対前年度比1.20)

はじめに道路の機能と目指すべき社会像

また、行政部費(国費9億円)及びデジタル庁一括計上分(国費13億円)がある。

なお、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和2年12月11日閣議決定)」、「現下の資材価格の高騰等を踏まえた公共事業等の実施に必要な経費」、「高速道路の料金引上げに必要な経費」については、事項要求を行い、予算編成過程において検討するとしている。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

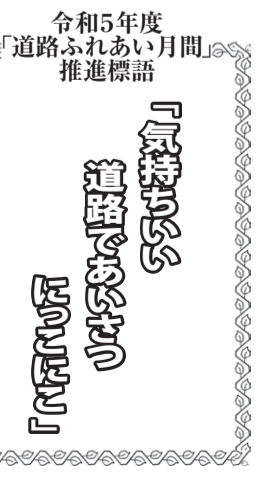
道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創出する。



全国道路利用者会議と道路整備促進期成同盟会全国協議会は、去る9月4日(月)、東京都千代田区「ルポール麹町」において、「令和6年度道路関係予算概算要求概要」について説明をいただいた。説明終了後には質疑応答や意見交換が行われた。

説明会の冒頭、高垣廣徳道路整備期成同盟会全国協議会会長(広島県東広島市長)が挨拶を行った。

道路が持つ「人・地域をつなぐ」ネットワークとしての機能と「地域・まちを創る」空間としての機能を最大限活かす、国民の暮らしや経済をしっかりと支えていく必要がある。他の交通手段とも連携し、世界一安全(Safe)、スマート(Smart)、持続可能(Sustainable)な道路交通システムを構築し、以下の社会の実現を目指す。

(1) 災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会

自然災害は、国や地域の成長軌道を一瞬にして破壊する力を持ち、日本が持続

道路が持つ「人・地域をつなぐ」ネットワークとしての機能と「地域・まちを創る」空間としての機能を最大限活かす、国民の暮らしや経済をしっかりと支えていく必要がある。他の交通手段とも連携し、世界一安全(Safe)、スマート(Smart)、持続可能(Sustainable)な道路交通システムを構築し、以下の社会の実現を目指す。

(1) 災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会

自然災害は、国や地域の成長軌道を一瞬にして破壊する力を持ち、日本が持続

道路が持つ「人・地域をつなぐ」ネットワークとしての機能と「地域・まちを創る」空間としての機能を最大限活かす、国民の暮らしや経済をしっかりと支えていく必要がある。他の交通手段とも連携し、世界一安全(Safe)、スマート(Smart)、持続可能(Sustainable)な道路交通システムを構築し、以下の社会の実現を目指す。

(1) 災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会

自然災害は、国や地域の成長軌道を一瞬にして破壊する力を持ち、日本が持続

“道路総合システムサービス”企業

ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL.03(3265)1511代表



〈2面に続く〉